

故郷に思いを馳せて

東京ふるさと置戸会の集い

創立30周年記念
東京ふるさと置戸会の集い
平成26年1月25日（土）



首都圏に在住する置戸町出身の方々などで組織された「ふるさと置戸会」（石井敏明会長）の平成26・2014年の集いが1月25日、東京都内の主婦会館プラザエフで開催されました。創立30周年の記念開催となった今年の集いには、会員のほか町からも井上町長や佐藤議長など総勢120人が参加し、ふるさと談義に花を咲かせながら旧交を温めました。

同会は、全日本綱引選手権大会に出場した「置戸人間ばん馬」チームの応援に駆けつけた置戸町出身者によって、同郷人の親睦とふるさとの応援を目的に昭和59年11月に結成されました。

集いの冒頭で石井会長は「初代の武田会長はじめ歴代役員や会員の皆さまの並々ならめ思いがあって30周年を迎えることができました。置戸は小さな町ですが、誇れるふるさとです」と挨拶。

町からは井上町長、佐藤議長のほか、JAきたみらい置戸地区事務所の奥山運営委員長、町観光協会の西島会長などが参加しました。

井上町長は町の現況を報告した上で、「遠く離れた場所からであっても、これからもふるさと置戸を支えてください」と呼びかけました。

続く祝宴は、佐藤議長の乾杯の音頭でスタート。各テーブルでは、お互いの近況やふるさとの話題で話がはずみ親睦を深めました。

また、会場ではエンジェルハーブの演奏や、豊年種まき踊り保存会による郷土芸能披露、空クジなしの福引抽選会などが行われ、創立30周年の祝賀ムードに華を添えました。



加入の呼びかけを

ご家族・ご友人などで首都圏に転出された方に、ぜひ加入を呼びかけてください。

【詳細】

置戸町ふるさと運動推進協議会事務局へ
(町民生活課広報広聴係 ☎52-3315)